

第1回静岡市新清水庁舎建設検討委員会

<議事要旨>

開催概要	
■日時	平成29年9月5日(火) 午前10時00分～12時00分
■場所	静岡庁舎本館 3階 第一委員会室
■出席者	委員 伊東哲生委員、加藤孝明委員、黒瀬武史委員、高山茂宏委員、竹内佑騎委員、寺沢弘樹委員、鍋倉紀子委員、日詰一幸委員、森正芳委員(※宗田好史委員は欠席)
	事務局 山本政策官 企画局 森下公共資産統括監 アセットマネジメント推進課 向達課長、田中清水庁舎建設準備室長、柴参事、清水主任主事、関係課 課長等 (コンサルタント) ㈱ニュージェック 島、一戸、柴原
■傍聴者	4人
■議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 政策官あいさつ 3 委員紹介 4 委員長選任等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長選任・あいさつ (2) 職務代理者指名 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新清水庁舎建設検討委員会の進め方〔資料1〕 (2) 新清水庁舎建設基本構想の骨子〔資料2〕 (3) 序章 庁舎再整備の背景及び目的〔資料3〕 (4) 1章 課題と再整備の必要性〔資料4〕 (5) その他 6 閉会
■資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回静岡市新清水庁舎建設検討委員会次第 ・静岡市新清水庁舎建設検討委員会委員名簿 ・静岡市新清水庁舎建設検討委員会設置要綱 ・資料1「新清水庁舎建設検討委員会の進め方」 ・資料2「新清水庁舎建設基本構想の骨子(案)」 ・資料3「序章 庁舎再整備の背景」 ・資料4「1章 現庁舎の課題と再整備の必要性」

議事要旨
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 政策官あいさつ 3 委員紹介 4 委員長選任等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長選任・あいさつ 委員長は日詰委員に決定。 (2) 職務代理者指名 職務代理者は伊東委員に決定。

議事要旨	
5 議事（1）新清水庁舎建設検討委員会の進め方	
日詰委員長	それでは、「議事（1）新清水庁舎建設検討委員会の進め方」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（宗田委員の意見文書及び資料1について説明）
日詰委員長	事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。
寺沢委員	資料1のp.9に事業手法が記載されていますが、今回の選択肢はここに示されているもの（PFI、DB、DBO）だけなのでしょうか。事業手法はこの他にもたくさんあるため、幅広く検討した方が良いのではないかと思います。意図をお聞かせください。
事務局	p.9の事業手法は、代表的な例として示しています。p.7に委員会のスケジュールを示していますが、事業手法については5章「事業の進め方」において、先程のご提案の内容も含めながら詳しく議論していきたいと考えています。
高山委員	宗田委員の意見文書については、委員会議事録と共に委員へ送付いただきたいと思います。 また、役割の中に「市の案である清水駅東口公園への移転建て替えをベースに比較対象を挙げて検証」とあるが、場所の設定をしたうえでの建設については検討できませんと言っている。まだまだ、清水区の9割方、何のための区役所なのか、何のために桜ヶ丘病院なのかを分かっている人がほとんど。そういう中で、建物の中身は良いとしても、場所を設定して話をしているといってしまうと。私もその中に入ってしまうのが嫌だったので、最初、委員承諾の判を押さなかった。その辺りは、もう一度考え直していただきたいと思います。
事務局	宗田委員の意見文書は、委員会議事録と共に委員の皆様へ送付いたします。 建設場所については、この委員会において、市の案である東口公園への移転をベースとして、その他の案と比較・検証しながら検討していただきたいと考えております。
加藤委員	まちづくりの一部として、この庁舎の建設場所が決まっている中でこの委員会の役割は、ただその決定に追認するのではなく、東口公園への移転が最適な決定なのか、それ以外の案があればそれも含めて、客観的に評価・検証することだと認識しております。
事務局	事務局としても、加藤委員のおっしゃられるようなかたちで進めていきたいと考えております。委員会の役割で先程ご指摘いただいた部分については、資料1のp.1②役割の部分で2つ目の項目に記載しております。まずは市がどのように考えているのかを知っていただき、その内容について検証していただきたいと考えております。

議事要旨	
黒瀬委員	<p>p.7 に委員会スケジュールが示されていますが、移転先については、一回の委員会で決めるのではなく今年度いっぱいかけて検討すべきではないでしょうか。</p> <p>また、移転先を考える前に、どの程度の規模や機能を新庁舎に持たせるのかを先に明確にすべきではないでしょうか。規模や機能について、この検討委員会で検討する内容なのか、市で決定する内容なのかといったことも含めて、市の考えをお聞かせください。</p>
事務局	<p>委員会スケジュールについてですが、一回の委員会で意見が出揃わないことも考えられるため、その議題については回をまたいで議論していただくことになると思います。</p> <p>規模、機能については、行政としての機能とまちづくり拠点などの機能の2つがあると思います。行政としての機能については、どのような配置とするのが良いか市の内部で検討していこうと考えております。まちづくりや市民協働に関しては、ぜひこの検討委員会においてご議論いただきたいと思いますと考えております。</p>
黒瀬委員	<p>建設場所を決定してから規模を決定するのではなく、規模を決定してから建設場所を考えるのが良いと考えています。次回の委員会では、規模についてどのように考えられるのか、市の基本的な考え方を示していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>規模については、現在も市の内部で検討しているところですが、次回に向けて早急に検討し進めていきたいと思っています。</p>
日詰委員長	<p>p.7 のスケジュールでは、今年度中に基本構想を策定することとなっています。細やかな検討が必要な項目もあるため、今後の検討委員会の内容・スケジュールについて少し見直しが必要かと思っています。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、今回の委員会でのご意見をもとに第2回以降の委員会の取りまとめ内容を再検討したいと思います。</p>
日詰委員長	<p>他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>《質問・意見等なし》</p>
5 議事（2）新清水庁舎建設基本構想の骨子	
日詰委員長	<p>それでは次の議事に移ります。「議事（2）新清水庁舎建設基本構想の骨子」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料2について説明）</p>
日詰委員長	<p>事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
鍋倉委員	<p>規模を先に決めた方が良いというご発言に関連して、4章の庁舎の機</p>

議事要旨	
日詰委員長	<p>能・役割について、早めに検討した方が良いと考えます。先程の宗田委員のご意見にあるような清水庁舎にあって静岡市庁舎にないものを考える上でも、機能、施設構成については深く検討する必要があると思います。</p> <p>委員の皆さんのご意見を聞くと、4章の機能等を検討した上で、庁舎の建設場所についての議論を進める方が良いのではないかと思いますので、市においても再検討いただければと思います。</p>
寺沢委員	<p>市として決定済みの与条件があるのであれば、その内容を早めに示していただけると、委員会の検討範囲が明確になると思います。例えば、駅前には空き店舗がたくさんありますが、区役所の機能の一部をその空き店舗へ移すというドラスティックな案についても、対応が可能なのかという経営判断をしていただけると、建設的な議論ができると思います。</p>
事務局	<p>市として経営判断していくものは何かということについて、次回以降で明確に示していきたいと考えています。</p> <p>また、規模や機能を検討する流れについて、委員会進め方や取りまとめ内容を検討し、示していきたいと思います。</p>
日詰委員長	<p>他にもご意見があるかとは思いますが、後ほどの議論に関連するものもあるかと思うので、次の資料のご説明をしていただければと思います。</p>
5 議事(3) 序章 庁舎再整備の背景及び目的	
日詰委員長	<p>それでは次の議事に移ります。「議事(3) 序章 庁舎再整備の背景及び目的」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料3について説明)</p>
日詰委員長	<p>事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>資料3で耐震性能等について記載がありますが、庁舎建て替えを行う他の自治体と比べて清水庁舎の竣工年は新しく耐震性能についても全くないわけではないため、建て替えの理由や必要性について明確に示す必要があると思います。</p> <p>また、p.5 に示す上位計画において、津波防災地域づくり推進計画以外は津波ハザードについて言及しているものが少なく、津波ハザードと共生していくまちづくりを目指していることが読み取りづらくなっています。災害リスクがある場所でいかに共生していくのかを検討する旨を示す意味でも、津波ハザードを考慮した計画であることを全庁体制で関連計画においてもしっかりと明示すべきだと考えます。</p>
事務局	<p>一点目の耐震性について、清水庁舎は旧耐震基準が採用されていた時に設計されたものであったため、東日本大震災を機に耐震性能を再度検</p>

議事要旨

	<p>証した結果、ランクⅡということで、防災拠点としては不足するのではないかという考えに至りました。</p> <p>また、二点目のご意見に関連して、庁舎が市民を守る建物であるべきと考えられるため、津波ハザードとの共生・考え方については今後も検討し計画の内容に含めていきたいと考えております。なお、今回の計画では多くの課が関連しており、それらの課で作成する計画にも津波ハザードの考え方が徐々に反映されていくのだろうと考えます。</p>
加藤委員	<p>津波による災害の危険性がある中でそのリスクと共生していくために、万全な庁舎にしていかななくてはいけないといった説明が、今後納得していただくためにも必要ではないかと思います。</p>
竹内委員	<p>災害を含め、将来考えられる人口減少や財政負担など、まちが抱える問題について言及すべきだと思います。序章の背景の部分で、このまちが置かれている現状をオープンにしていくべき。</p>
事務局	<p>庁舎建設検討の背景のひとつとして、まちの現状・問題や将来像について触れていきたいと思います。</p>
寺沢委員	<p>報告書全体について、行政的な文章で市民への説明としては硬すぎて伝わらないのではないかと思います。広報紙でまちづくりについてどのようにしたいのか、その中で庁舎がどうあるべきかを描いている中で、今回の報告書では庁舎を（コトではなく）ハコをどうするかという視点だけで考えているような印象を受けます。「にぎわい」という言葉がありますが、経済のことを指すのか、人の動きを指すのか明確ではありません。より具体的な内容を示した方が、活発な議論に繋がるのではないかと思います。</p>
黒瀬委員	<p>資料3のp.7に中心市街地が示されていますが、とても広い範囲を設定しています。これは宿場町の江尻と元々の清水が合併してできたまちであるため、清水庁舎もその境界上ということで今の位置になったと聞いています。今までの都市計画は、その広い中心市街地を保とうとして、庁舎はその日の出と江尻の中間で機能してきました。庁舎を移すということは、その考え方を転換して、JR清水駅東口エリアへ集約するというメッセージに読み取れますが、市ではそのように決断されているのでしょうか。</p> <p>また、JR清水駅へ直結させることで、清水区民が多く使う新清水駅からのアクセスの良さをなくしてしまうこととなります。そういったデメリットを越えて、JR清水駅の近くに建設する方がいいという根拠を示す必要があると考えます。</p>
事務局	<p>まちづくり全般に関わってくる内容ですので、今後の庁内の検討において参考にさせていただきます。</p>
鍋倉委員	<p>「ウォーターフロント」というと格好よく聞こえますが、海の方に行くほど危険なのではないかという思いがある。防災性について、資料でと</p>

議事要旨	
森委員	<p>りあげているが、どのような機能として新庁舎に導入されるのか示していくべき。</p> <p>また、私の子ども時代から、万世町、新清水がメインの繁華街で、今も多くの商店や会社があります。JR清水駅周辺に集約させることの意義について、十分示していく必要があると思います。</p> <p>まちづくりは一言で説明できないものだと思います。清水区におけるまちづくりが、区民に対しても、この委員会でも浸透度が低いように感じますし、これが明確でない状態で庁舎建設の話を進めていくのは、時期尚早という気がする。</p> <p>個人の意見としては、庁舎の移転建て替えについては大賛成です。築30年で早いという人もいるが、元々の清水市役所であり現状では大きすぎる。将来のことを考え、財政的に余裕のあるうちに建替えをしておくべきだと思います。</p>
伊東委員	<p>資料4のp.1の階層構成図を見ると、静岡市役所の機能が清水庁舎に含まれているのが分かります。検討委員会第2回までに、これら静岡市役所の機能をどのようにするのかを含めて、港をもつ「清水区」の庁舎としての方向性を庁内で検討・決定し、示していただきたいと思います。</p>
高山委員	<p>今日の議論を聞いていると、行政のやろうとしていることがオブラートにくるまれていて、一本筋の通ったものが見えてこない。もう一つは市民の関心が薄い。そこに住んでいる人の関心は高いが、清水区、市全体ではギャップがある。それをどう埋めていくのかがまちづくりであると思う。加藤委員からもあったが、清水港をどう津波から守るのかという問題がクローズアップされて、それがクリアになって初めて港は維持できるということだった。そういう意味では、この資料では津波対策についてあまり表現されていない。最後には、それでよいのかという話になる。これだけ大きな問題であるので、ぜひ、皆さんの力を借りて結論を出していきたい。</p>
日詰委員長	<p>今回は第1回目ということで、非常に大きな枠組の話について議論があったと思います。論点が非常に多く出てくるため、議論が必要な項目についての活発なご意見を頂くために、市としての考え方、方向性を明示していただきたいと思います。</p>
5 議事(5) その他	
事務局	<p>本日ご意見いただきました内容を参考に、事務局の方で検討し次回以降の進め方と併せて調整させていただきたいと思います。</p> <p>第2回目の検討委員会は10月16日を予定しております。今後の日程については次第にお示ししておりますが、議論の進捗状況によって改めて日程調整を行う可能性もあるため、その際にはご協力の程よろしくお願いたします。</p>
事務局	閉会のあいさつ
6 閉会	